

## 高砂市文化振興基本方針に関する意見書

## ご意見・修正等

## ① 基本方針に係る内容や柱立てなど

- ・ 基本方針については、高砂をどのようなまちにしたいのかという観点でみていきたいと思っています。ですから、基本方針は、あくまで大きな（理想論的な）考え方でいき、その後、重点項目ではもう少し具体的な内容まで踏み込めたらと思います。
- ・ 今、分類分けされている大項目・小項目に、実践項目（あるいは実例項目）を加え、小項目まではもう少し一般的な表現の内容にしたらどうでしょうか？
- ・ 前回、高砂市民が「高砂市の文化のアイデンティティ」ということで、謡曲「高砂」をシンボリックに活用しようということだったと思いますが、みんなに知ってもらうための具体的なことは事務局に任せていいのでしょうか。
- ・ 謡曲「高砂」について、姉妹都市であるオーストラリアアトロープ市にも情報発信してはどうか。
- ・ いろんな方法が考えられると思いますが、実際にやって、市民全体に定着していくこととなったら…。「小さな場面からコツコツと」という考え方もあるでしょうが、「広がり、継続」の面から考えるとこれも…。難しいと思います。
- ・ 先日、新聞に「高砂町の空き家利用…」「美濃部達吉の墓…」というような記事を読みました。「商工か生涯学習の関係」かもしれませんが、「文化振興」ともかかわって、市役所は何か予算的、人的に関係しているのでしょうか。
- ・ 市民の多くの人がかかわれる「イベント的なもの」を組織してはどうか。自分が発表、参加したという意識、またそのために普段の活動をもっと充実させようと考え、普段の活動に張り合いをもっていただければ…。これも組織することが大変だと思いますが…。
- ・ 「文化振興」、市民のどの層に、どんなことを期待するのか？

## ② その他

- ・ 傍聴希望についてですが、できるだけ公開するという考え方であれば「高砂学」に来られている方（参加者の多くが高砂に関心を持っている方だと思うので）に呼びかけたら如何でしょうか。
- ・ 古文書の講師について
- ・ ガイドの窓口と募集について
- ・ 大きすぎる建物ではなく、市民が日常的に、あるいは週末に、気安く、楽しく参加できる「もの、こと、ばしょ…」があれば、と抽象的に言うのは簡単なのですが…。  
また、そういったことをしようとする「生活のゆとり」が高砂市にあるのか、ないのか。文化とは「生活そのもの」という言い方もあるようですが、確かに「生活の質」が根底にあるようです。  
たまに加古川のウェルネスへ行きます。いろんな人が静かに本を読んでいる姿はいいものです。これは単純に「図書館をつくれ」といっているわけではありません。